



【(公財)川崎市国際交流協会の講師紹介】

2018年度 語学講座「初級英会話」担当講師

ポール マッケナ

Paul McKenna先生



Although I consider myself to be an Irishman, I was born in Canada. I grew up in South Dublin, Ireland, and the nineties was a vivid time to be a teenager, and then a college student in Dublin. Because of the economic boom called "Celtic Tiger," Ireland transformed, becoming a more prosperous, cosmopolitan and colourful place.

I studies Zoology in college, but I wanted to pursue something more creative, so I returned to university to study for a masters in digital multimedia. Luckily, one of my classmates connected me with a job teaching digital multimedia, starting me on a career-path in education which I follow today.

Currently I live in Machida with my wife and two daughters, and I teach in three private universities.

The goal for the course is to improve spoken English through role-playing interactions with foreign visitors. We will cover many ways of achieving things such as asking for information, giving advice, explaining rules and procedures, apologizing etc. I hope to expand on the textbook by trying out some alternative expressions which are more natural. My wish is that the course will be not only fun, but also help you see communication in a fresh way.

私はカナダ生まれで、アイルランドのサウス・ダブリン育ちです。10代から大学までを過ごしたダブリンでの90年代は活気に満ちていました。アイルランドは「ケルトの虎」と呼ばれる経済成長期に急成長し、国際的で生彩に富んだ国になりました。

大学では動物学を学んだのですが、もっとクリエイティブな仕事をしたいと大学院に進みました。デジタルマルチメディア(情報処理技術)を専攻し、その分野の講師の仕事に就いたことが、私のキャリアの第一歩です。

現在は、日本人の妻と2人の娘と町田市に住み、私立大学3校で講師をしています。

この英語講座では、ロールプレイを通じて、外国人観光客との英会話力をアップさせることが目的です。必要な情報の尋ね方やアドバイス、決まりや手順の説明、謝り方などを練習していきますが、テキストには載っていない自然な表現なども紹介したい、「楽しい」と感じてもらえることはもちろん、コミュニケーションを新しい視点で見てもらいたいと思っています。



川崎市国際交流センターの
あれこれ・いろいろ紹介

CENTER'S EYE

Vol. 09

～無料展示ロビーとギャラリーのご案内～

あなたの作品が国際交流の架け橋に!

陶芸、書道、生け花、絵画、写真など、あなたの作品をセンターのロビーで飾ってみませんか? 館内には無料で作品展示ができるスペースがあり、これまでさまざまなサークルや教室の作品発表の場として利用されています。興味のある方は、受付にお問合せください。



「カナガワビエンナーレ国際児童画展」



「書道展」

ロビーには平面作品が掛けられるレールが設置された壁面が展示できる場所が約17mあり、立体作品やキルトなど大型作品の展示も可能です。展示パネルや備品の貸し出しもすべて無料です。

ホールや図書・資料室への通り道にあるため、人通りも多く、海外の方の目に触れるチャンスも十分。展示をきっかけに国際交流の輪が広がるかもしれません。

今年はオーストラリアのウーロンゴン市との姉妹都市提携30周年を迎えます。

ウーロンゴン市はオーストラリア大陸南東部沿岸に位置する港湾都市。川崎市同様、港があり、製鉄業が盛んであるところから1988年に姉妹都市として提携を結びました。今年は川崎市民交流団の派遣も予定され、ますます友好が深まりそうですね。

国際交流センターのギャラリーでは川崎市の姉妹・友好都市の展示がご覧いただけます。珍しい記念品もありますのでぜひ一度お立ち寄りください。

(取材・文:編集ボランティア 水野裕子)

